

広島大学学術情報リポジトリ  
Hiroshima University Institutional Repository

|            |   |
|------------|---|
| Title      | 『坊っちゃん』小考：坊っちゃんの性格と清の役割を中心に   |
| Author(s)  | 李, 淑暎   |
| Citation   | 日本語・日本文化研修プログラム研修レポート集, 1989 : 49 - 54  |
| Issue Date | 1990-03-15  |
| DOI        |   |
| Self DOI   |   |
| URL        | <a href="https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00039262">https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00039262</a> |
| Right      |   |
| Relation   |   |













清は、心から信頼している対象でありつづけており、伴侶に近い者で  
 女ると言われる彼岸の妻になるのではないで女ろうか。  
 子を待っているが回想風になつていふことか坊っちゃんかおそらく  
 大人になつていふ現在の坊っちゃんでも、坊っちゃんであつた頃のこと  
 いなりこがわかるといふ。また、描かれていふ清はつねに善い  
 あり、坊っちゃんけ清との美しく幸福な感情を持ちつづけていふ。  
 裏、と言ふのは過去の思い出のものが、坊っちゃんはそのこに参りつ  
 するのである。

注

- 1) 夏目漱石 『坊っちゃん』 「『漱石全集』 第二巻」 岩波書店 1976 p 241
- 2) 注1)と同じ p 244
- 3) 注1)と同じ p 260
- 4) 片岡良一 『夏目漱石の作品』 厚文社 1955 p 67
- 5) 坂本浩 『夏目漱石 — 作品の深層世界 —』 明治書院 1979 p 64
- 6) 注1)と同じ p 279
- 7) 注1)と同じ p 251
- 8) 注1)と同じ p 227 ~ p 228
- 9) 注1)と同じ p 354 ~ p 355
- 10) 平岡敏夫 『漱石序説』 哲書房 1976 p 80
- 11) 注1)と同じ p 282 ~ p 283
- 12) 村上嘉隆 『漱石文学の人間像』 哲書房 1983 p 16
- 13) 注1)と同じ p 274 ~ p 275

参考文献

- 1) 夏目漱石 『坊っちゃん』 「『漱石全集』 第二巻」 岩波書店 1976
- 2) 片岡良一 『夏目漱石の作品』 厚文社 1955
- 3) 坂本浩 『夏目漱石 — 作品の深層世界 —』 明治書院 1979
- 4) 平岡敏夫 『漱石序説』 哲書房 1976
- 5) 村上嘉隆 『漱石文学の人間像』 哲書房 1983
- 6) 相原和邦 『漱石文学の研究』 明治書院 1978
- 7) 荒正人 『評伝 夏目漱石』 実業之日本社 1960